



議会だより

あさぎり

No.40
H26.2.6 発行

[あさぎり町議会](#) [検索](#)

12月
本会議

一般会計補正予算

原案通り可決 2～3P

一般質問に13人が登壇 4～10P

球磨川マラソン大会 15P



2億1,932万円を追加し

総額 108億1,474万円

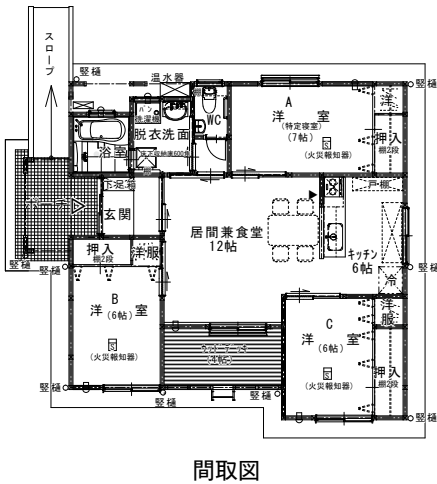
平成25年度第8回会議（12月定例会）12月10日に開会し、条例改正・一般会計補正予算・特別会計補正予算が提案され、いずれも原案通り可決された。

審議内容の抜粋

あさぎ町営単独住宅管理条例（須恵中央ハイツ）の制定についての質疑

問 入居条件で、入居時にいて小学生以下（胎児を含む）の同居親族があることとなっているが、新婚で妊娠が分からない場合どうなるのか。

答 この住宅については、定住促進と須恵小学校の複式学級の解消が目的で、同居親族がいない世帯は対象とならない。その場合は他の町営住宅を紹介する。



一般会計補正予算についての質疑

問 図書館の管理システムはどのようなものか。

答 通常の蔵書管理システムと合わせて
せきれい館と生涯学習センター2ヶ
所のお互いの検索機能を持たせた検索シス
テムを一緒に導入するもの。

問 公債費の繰り上げ償還は今後もあるのか。

答 金利の高い分、償還年数が長いものについては、検討していく。



せきれい館の蔵書管理システム

問 農業振興事業補助金については、消費税アップの前に前倒して、次年度分を持つてくるとの事だが、次年度の予算が減るという事か。

答 次年度、農政が大きく変わる事が予想されるので、本年度並みの予算額を確保したい。

あさぎり町税外収入金の督促手数料及び延滞金徴収条例等の一部を改正する条例の制定について

問 国内銀行の貸出約定平均金利となっているが、これが今後大きく変わってくるような状況になるとどうなるか。

答 財務大臣の告示なので、わかりづらい部分はあるが、大きく変わる事はない。

問 還付加算金については、率が下がるのと納税者にとっては、不利な制度になるのではないか。

答 還付加算金については、従来が高かった事もあり、金利が全体的に下がっておりそれに合わせた。

条例の制定及び改正

あさぎり町営単独住宅管理条例の制定

定住促進と須恵小学校の複式学級解消の為に建設される須恵中央ハイツ（旧須恵中跡地）の家賃及び入居者資格等を定めるもの。



あさぎり町税外収入金の督促手数料及び延滞金徴収条例の一部を改正

低金利の時代の中で延滞金等について、異常に高い金利設定になっていた。それを解消するための措置。

◆平成25年第8回会議 表決一覧表(抜粋)

議案名	議員名	加賀山	橋本	久保	小出	森岡	徳永	豊永	山口	永井	皆越	小見田	奥田	田原	溝口	久保田
あさぎり町営単独住宅管理条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
あさぎり町税外収入金の督促手数料及び延滞金徴収条例等の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成25年度あさぎり町一般会計補正予算(第5号)について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成24年度川辺川総合土地改良事業組合一般会計歳入歳出決算の認定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

問 介護支援ボランティアポイント制度は

福祉課長

27年度介護保険改正後導入を検討する



皆越 てる子 議員

皆越 厚生労働省が、2007年介護保険制度のメニューとして全国の自治体へ導入を呼びかけ、郡内でもすでに実施している町村もある。我町でも是非実施して頂きたい。町として制度の把握は。

福祉課長 高齢者が、介護支援ボランティア活動を通じて、社会参加、地域貢献を行うとともに、高齢者自身の健康福祉を図り、精神的に支援する施策で、人吉球磨管内では4町村が実施している。

皆越 介護予防養成講座を修了した人たちが、このボランティア制度に集まってくるのではないかと思います。



榎田地区のサロン状況

福祉課長 介護予防サポーター養成講座を受講された方は現在187名。今後、全地区の方に講習を受けて頂き、活動支援してもらいたい。27年度からの第6期の計画が策定予定であるので、その中で、この制度の導入を検討する。

問 旧中学校を福祉施設としての利活用は

町長 当面は各公民館の活用を優先的にやる



小見田 和行 議員

小見田 平成22年の国勢調査によると、高齢化率30.1%、一人暮らし、高齢者のみの世帯も99.7世帯、全世帯比18.5%となっており、これが平成37年に団塊の世代が後期高齢者になれる時、高齢化率は38.2%と予想されている。健康で生きがいを持ち住み慣れた地域で暮らせるよう介護予防に重点を置いた取り組みの必要性が今以上に重要になってくると思う。廃校を福祉施設等に再利用している全国事例も数多くあり、あさぎり町新町建設計画にも合併による遊休施設に福祉施設の整備をし、ふれあいサロン等の開催も謳っている。将来増加する高齢者の受け皿として、旧中学校の活用は考えられないか。

町長 スペース的に広く、再整備に多額な金もかかる等々あつて慎重に検討したい。当面は、もみじ館とか、各地区公民館の活用で進めていきたい。旧中学校の活用等も余り時間をかけずやるべきと思っている。



旧岡原中学校舎

一般質問

議員が町の執行部に対してさまざまな角度から町政について質問する。

問 農業の発展には政策の安定が必要

町長 町の独自性を検討する



森岡 勉 議員

町長 国政が動いている中、町の独自性を示したいが一町だけでは難しい。今後球磨人吉一体での取り組みが大事と考えている。

森岡 今後の農政は、地域の話し合いに基づいた、多様な担い手の育成だと思うが。

農林振興課長 集落営農の法人化など、町がリーダーシップをとりながら推進をする。

森岡 新たな水田農業政策を町の農業振興の機会にすべきである。



転作面積が多い稲発酵粗飼料(WCS)

◎その他の質問

1. 法令遵守及び不祥事の発生について
2. 第2次行財政改革について

問 TPP交渉が妥結した場合、その影響について試算は

農林振興課長

あさぎり町で255億円、3品目だけで30%以上減少する

豊永 TPP交渉参加の農業分野における影響は非常に大きいと思われるが、その試算はなされているのか。

農林振興課長 熊本県が国の試算に基づいて、農水省の算出方法に準じて出したものを県全体の減少率をあさぎり町の減少率に置き換えて作成している。

◎その他の質問

TPP交渉・コメ政策転換に伴う第2次あさぎり町総合計画前期基本計画の農業分野の見直しについて



豊永 喜一 議員

環太平洋連携協定(TPP)参加による影響について

●農畜産物の試算方法及び減少額について(平成25年3月22日 農林水産省の算出方法に準ずる。)

品目名	県の試算方法	県全体減少率	県全体減少額	球磨管内減少額	あさぎり町減少額
米	○米国及び欧州産米の輸入により、国内生産量の3割が置き換わる。 ○残る国産のコメの価格は、26%下落。	△50%	203億円	21.9億円	5.9億円
小麦	○国産小麦は外国産の約2倍 ○現在は小麦として輸入されているが、今後は小麦粉として輸入される。 ○国産100%をセールスポイントとする差別化された小麦1%は残る。	△99%	4億円	0億円	0億円
牛肉	○国産品牛肉は外国産の約3倍。 ○肉質が3等級以下の国産牛肉9割が外国産に置き換わり、肉質3等級以上の国産牛肉の1割及び肉質4・5等級の国産牛は残る。 ○残る4・5等級の国産牛肉の価格は7%下落。	△70%	213億円	31.6億円	7.2億円
牛乳・乳製品	○国産乳製品は外国産の約3倍の価格で、品質差もほばないため、全量が外国産に置き換わる。 ○輸入乳製品の増加により、行き場を失った北海道の生乳が飲用に供給され、都府県の牛乳はプレミアム牛乳を除いて消滅。	△100%	263億円	42.0億円	12.4億円
豚肉	○国産豚肉は外国産の2倍強の価格で、品質差もない。 ○国産銘柄豚以外の70%が、外国産豚肉に置き換わる。 ○残る豚肉の国内生産分の価格は、28%減少。	△79%	136億円	4.8億円	—
鶏肉	○国における各品目の試算に基づいた生産量減少率から試算。	△20%	22億円	0.7億円	—
鶏卵	○国における各品目の試算に基づいた生産量減少率から試算。	△17%	13億円	0億円	—
				3品目の計	25.5億円

※熊本県において大きな影響が出るとみられる上位7品目で試算されている。

※農業産出額については、平成18年度分を最後に市町村毎の統計は発表されていない。そのため

①米については、平成24年度の水田作付計画表の面積に熊本県災害単価表の単価を乗じて計算した。②牛肉については、JA分と球磨畜産農協分の出荷合計額。③牛乳・乳製品については、球磨酪農・ホワイト酪農分の出荷合計額。④豚肉、鶏肉、鶏卵については調査の方法がなく断念している。

(参考)※熊本県では農畜産物の県産出額3,113億円のうち約854億円が減額する(27.4%)

問 教育委員会の指導主事・審議員は、 今後も継続するべきでは

教育長 委員会としては継続をしたい



教育委員会が作製した英語の副読本



溝口 峰男 議員

溝口 教育委員会の指導主事・審議員は、今後も継続するべきではないか。

教育長 教育振興に対する深い御理解に感謝する。指導主事は学校現場での教職員への指導・助言を柱に多くの効果を上げて

町長 指導主事設置の予算化は、今後とも議会に提案していきたい。

溝口 生徒による生徒のための議会を開催できないか。

教育長 今年は、議会傍聴を行う。次年度から執行部との模擬議会を検討したい。

溝口 26年度、まちづくり基金20億・活性化基金2億2千万円を積極的に活用して地域の再生を図るべきではないか。

町長 流れにまかせていては町は元気にならないので、新しい事にチャレンジしていく。

副町長 消費税の増税・

TPP対策として産業活性化基金等も活用して、積極的な予算を講じていくべきと考えているので町長に進言していく。

◎その他の質問

- ①メタンガス発電事業の誘致
- ②学校の事務事業評価の見直し

一般質問

問 新たな中心市街地活性化 基本計画の策定は

商工観光課長

町、商工会、JAと一体となって
物産館等の計画は考えていく



橋本 誠 議員

橋本 本年度で国の交付金事業による駅前整備が終了するが、その後の中心市街地整備をどのように考えるのか。

商工観光課長 新たに将来を見据えて、中心市街地活性化計画を商工会等の関係団体と協議の上で策定する予定である。

橋本 以前からの懸案である駅東側の土地の取得についてはどう考えるか。

商工観光課長 現在整備している駅前広場等が駐車スペースとして活用出来る事から取得を断念している。

橋本 駅西側の開発については、JAとの連携による物産館の設置、石倉の活用は考えられないか。

商工観光課長 今後、町、商工会、JAと一体となって物産館等の計画は考えていきたい。



ポッポ一館から見た駅前再開発

橋本 福岡アンテナショップについては、議会との約束で業績が上がらなければ、平成26年3月末で閉店をするとの事であったがどの様になるのか。

町長 平成26年3月で区切をつけたいと家主に申し入れをしている。売り上げは厳しいものがあるが、色んな目標に対してはかなりの成果を上げたと思っています。

橋本 町の予算を湯水の様につかった2年間、色んな経費は相当なものであり、福岡アンテナショップを引き揚げるべき。

問 若者が残り、活気ある町になる様、生涯学習センターの活用は

教育課長

自己啓発の場に来る様検討して
いききたい

小出 若者が残る条件として、地元にも多くの雇用がある事が第一だが、それ以外に、今残っている若者が、充実した青年期を送れる為に、青年団活動以外にも気軽に集えるサークル活動の輪を広め、年間を通じての講座開設等、考えられないか。

教育課長 旧免田中跡を利用した生涯学習センターが開設されるので、自己啓発の場に活用出来る様に検討したい。

小出 若い母親達が子どもを連れて、悩みを分かちあったり、相談を受けたりと等、実践教育の場も作ったらどうか。

町長 色んなサークル活動を通して出



3月完成予定の生涯学習センター(旧免田中学校)

会い、研修の場を作る事は非常に大事な取り組みだと思うので、実現に向けて取り組んでいきたい。

小出 町作りは人作りからという様に、若者がこの町に残り、魅力ある町を作っていくってもらう為にも真剣に取り組んで頂きたい。

◎その他の質問

農業振興策について



永井 英治 議員

問 ふるさと振興社への助成金は妥当か

町長

段階的に削減していきたい

永井 9月議会において、監査委員の24年度の決算審査意見書の中で「ふるさと振興社は営利追求を目的とした会社だから、助成金の支出対象にはなじまない」と指摘されているが、今後の考えは。

町長 町の色々な農産物の加工販売を目的に設立しており、その収益で自立するのが基本と考えている。今後、町からの助成金については削減していきたい。



ふるさと振興社のあさぎり産大豆を使った豆腐づくり

永井 消防署のあさぎり町に対する救急体制では、現着時間が遅い地区が多く存在するが、上球磨消防署西

分署建設も含めて今後の考えは。

町長 消防組合の合併が不可能ならば、西分署建設をお願いしている。併せて、非公式だが上球磨と人吉下球磨との消防組合の合併の協議ができないか、申し入れをしている段階である。

問 工事の予定価格設定に問題は

町長

設計金額を基準に町長判断で予定
価格を設定している



山口 和幸 議員

山口 予定価格を設定する場合、資材等の最新の実勢価格を適切に反映させるとともに、必要に応じ見積もりを活用した積算方式の活用を図りつつ、実際の施工に要する経費を計上すべきと思うがどのようにしているか。

町長 基本的に設計金額を基準にいくらかの町長の判断で、予定価格を設定している。

山口 町長の感覚で予定価格を設定されれば問題がある。資材等の実勢価格を適切に反映されなければいけないのに、単に歩切りによる予定価格の設定に見受けられる。総務省からも「予定価格は財務規則等により、取引の実例価格等を考慮して定めるよう又、歩切りは、工事の品質や安全の確保に支障をきたす恐れがある」と指導があつてい

るので、機会を設けて再調査したい。

◎その他の質問

教育指導主事・教育審議委員については類似質問があり、今後も継続すると答弁があつた。



問 あさぎりブランド農産物認証委員会の運営は

農林振興課長

認証申請が無いので開催していない



奥田 公人 議員

うが、認証委員会は適切に行われているのか。

農林振興課長 平成16年11月にあさぎりブランド農産物認証委員会が役場の中に設置されている。開催状況は、17年10月に水稲を認証、17年11月に大豆、茎ブロッコリーを認証、平成19年1月に水稲、大豆について認証されており、3回の認証会議がされている。平成19年1月を最後にブランド農産物出荷協議会からの認証申請がなくなっており、認証委員会については開催していない状況となっており、現在、委員の任期も切れており、適切な運営がされているとはいいたい。

奥田 現在は、認証はされていないという事か。
農林振興課長 現在は、認証委員会の開催もなく、認証もない。



あさぎり町産大豆

問 旧中学校の跡地利用の進捗状況と今後の課題は

町長 目処が立つという現状ではなく、広く検討を続ける



久保 尚人 議員

久保 旧深田中は、JAが食品加工場建設を断念したと聞いたが。

町長 組合長の話では材料と販売先に問題があり慎重だ。

久保 新たな活用方法を至急検討願いたい。

旧岡原中学校は？

町長 介護の専門学校誘致に動いてきたが目処が立っていない。

久保 学校経営に不向きなこの地で、学校誘致に取り組むのは無理がある。

ソーラー発電事業を旧グラウンドで取り組めないか。

町長 グラウンド単体の活用は考えていない。

久保 1メガ(1,000kw)を50kwの小規模発電に小分けすると20人の発電所の町民オーナーが生まれる。

発電収益は町民の手に残り、所得税と固定資産税はあさぎ町町の収入となる。

町の商店にもお金が回り、あさぎ町の中で経済循環が起ころ。

ソーラー発電事業は町の遊休地を活かす、また新しいチャンスである。

町長 エネルギー変換の流れは、大きく進んでいる。深く掘り下げて取り組みたい。

再生可能エネルギー

特別措置法について

再生可能エネルギーからつくった電気を国が定めた単価で一定期間電力会社が買い取ることを義務づける法律。再生可能エネルギー電気の利用を促進して日本の国際競争力の強化及び産業の振興、地域の活性化その他国民経済の健全な発展に寄与すること、及び再生可能エネルギーによる発電ビジネスの推進・拡大が目的。買い取りにかかる費用は国民が電気使用量に応じて負担する。平成23年(2011)8月成立。同24年(2012)7月施行。



徳永 正道 議員

問 公立多良木病院の医師不足による町民の不安の声をどのように考えているのか

町長 4ヶ町村長と意思を合わせて取り組んで行く

徳永 公立多良木病院の医師不足により町民を始め圏域の住民が大きな不安に駆られている状況にある。その不安解消を図る為に地域医療振興協会が指定管理者となる事を前提に開設者協議会は話を進める事で一致していた。開設者協議会、関係町村議長等で進める為の覚え書きを協会に提出されるも町長は色んな事を理由に早期の指定管理に消極的な立場に方針転換した。その為に今日迄困難を極めたと思われる。一刻も早い問題



公立多良木病院

解決をとという開設者間の意思統一はあったのか。

町長 慎重にするべきだと言ったのは事実だ。開業医の先生方と連携をして自分達で協議すべきと言ってきた。

徳永 4者の開設者と意見の一致をみているのか。町長が一人歩きしているようにしかみえない。聞くべきは町民の不安の声であり、病に苦しむ人の声ではないか。今後の取り組みを見極めていきたい。

問 文化ホールの内容充実と今後の活用は

町長 大いに活用し地域活性化につなげたい



地域活性化に期待される文化ホール



加賀山 瑞津子 議員

加賀山 須恵文化ホールは小さな村の大きな取り組みとして高く評価された村の宝であった。私は町の財産だと考える。現在の利用状況は。

一般の利用者数が年間2万人程度。今後も地域おこし町おこしの拠点施設として精一杯活用していきたい。

加賀山 活用について提案がある。①大きなステージに立つ

貴重な経験を得るために町内の小中学校の発表会を実施 ②「子ども達に夢を」先輩・卒業生を招いての講演会・発表会の実施 ③郷土の文化・伝統芸能を学ぶ場としての活用。例えばエンブリー資料館の設置。

教育長 カルチャーパレスと比べ利用料も格安。学校教育、社会教育の場として非常に貴重な施設である。

教育課長 エンブリー博士を活用した展示等検討する。

町長 大いに活用し沢山人が来ることで、須恵地区の元気につながる取り組みに是非なっ

◎その他の質問

子育て支援センターの機能拡大や子育て相談体制の充実について

あさぎり町まちづくり 懇談会

あさぎり町まちづくり懇談会現地視察箇所図(交付金・国県要望事業等) H26.1.13	
◆ 懇談会検討事項 ◆	
1	携帯電話不感地帯の対策について
2	公共施設の処分に関する更なる規制緩和について
3	球磨郡公立多良木病院の医師の確保について
4	温泉施設の燃料費改善対策について
5	環境にやさしい畜産公害等防止対策補助金(仮称)の創設について
6	国営川辺川総合土地改良事業に伴う農家負担の軽減について
7	白髪岳登山口までのアクセス道の整備及び駐車場整備について
8	鳥獣被害防止対策(サル)について
9	社会資本整備総合交付金事業(町道整備分)について
10	土木部所管事業(国、県管理分)について
11	簡易水道事業統合に伴う財政支援について
12	特別支援教育の支援対策について

平成26年1月13日「あさぎり町まちづくり」懇談会を実施した。

で町内の予算要望12箇所を視察し、意見交換会の中で12事項について検討した。

- 金子恭之衆議
- 松村祥史参議
- 緒方勇二県議
- 松田三郎県議
- あさぎり町長
- あさぎり町議会
- 執行部幹部



議員全体研修報告

1、日時

平成25年10月21日～23日

2、研修内容

地元国会議員への要望

衆議院予算委員会傍聴

宮城県東松島市行政視察

初日、国会議員会館に金子代議士・松村参議・馬場参議を訪問し、本町に関係する来年度予算に關しての国庫補助金助成の要望書を提出、懸案事項の早期実現をお願いした。午後からは国会内にて、全閣僚出席の元、衆議院予算委員会において民主党議員の質問を傍聴した。

2日目からは、一昨年の東日本大震災において地震津波で大きな被害(死者1,107人、行



東松島 阿部秀保市長の歓迎挨拶

方不明者26人、家屋の全壊半壊等14,564棟)に遭われた東松島市を訪問。現在当町役場から早田愛一郎さんを復興支援に派遣中である。阿部市長の歓迎とお礼の挨拶のあと、市民福祉部長から津波の被害発生直後から現在までの市の対応について説明があった。議会運営委員長と副議長から災害直後の議会の動きについても詳しく報告を受け質疑応答を行った。現地視察



廃棄物の分別作業を視察

の中で、東松島市は過去に二度大災害にみまわれたが、今回はその経験が大いに役立ち、震災後の復旧作業が進んでいるとのこと。しかし109万tということ、4,400億円の復興費がかかること、マンパワー不足で予算がついた事業の半分がまだ手つかずであることの説明もあった。



DVD、パワーポイントでの震災状況などの説明
(大友市民生活部長)

今、本町について考えた時に「人吉盆地南縁断層(該当地ー岡原(上地区)ー)があり東大地震研の報告でも近年中の地震発生率が高いと評価されている。「災害は想定想像を超えるものと認識することが必要である」今回の研修をふまえて議会としても行動していかなければと感じた。

しなやかな町へ

議長 橋爪 和彦

新年明けましておめでとうございます。

昨年3月議会で、4月1日に開会し翌年3月31日に閉会する通年議会条例を、6月に議会と議員の最高規範を定めた議会基本条例を全会一致で可決しました。これで、議会改革の体裁が整い、その効果も感じています。この2つの条例の価値と本議会の真価は、今年以降の議会活動の如何で厳しく評価されることになると考えています。

各議員とも住民代表としての自覚を持って、町民の皆様のご意見を拝聴し、一段とモチベーションを上げて頑張りますので、本年もどうぞよろしく願います。

さて、表題は、現在、本町議会で最大の愛読書になっている感のある「里山資本主義」から引用したものです。

この本はグローバルな資源を享受してきた20世紀型の「マッチョな経済」から地域資源を活用した地産地消の21世紀型の「しなやかな経済」への転換がテーマで、本町でも直ぐに出来そうな木を活かした取り組みを含めて例示し、理論展開されています。

町勢に変化をもたらす規模の企業誘致は望めず、過疎化、少子高齢化の流れも止まらず、閉塞感が漂っているだけに、この本に示唆を受け光明を見出された方も多いのではないかと思います。本年は、アベノミクスとは対極の手法ですが、「しなやかな町」への、各議員の多様な政策提言を大いに期待しています。

最後に、町民の方々の本年のご健康とご多幸を祈念申し上げ、新年の挨拶と致します。



第9回本会議(平成26年1月24日)

一部事務組合及び常任委員会報告

人吉球磨広域行政組合

議会報告

11月29日、人吉球磨クリーンプラザ大会議室に於いて、第4回定例会があり、平成24年度歳入歳出決算認定について、決算特別委員長報告のとおり全員異議なく原案通り認定した。平成25年度一般会計補正予算、特別会計補正予算、一部条例改正についても、原案通り可決した。

上球磨消防組合議会報告

上球磨消防職員より申し立てのあった以下の件について、議員懇談会を開催し、執行部へ調査報告を求めた。通信指令システム事業、救急デジタル無線整備問題等、構成4ヶ町村総務課長等との合同調査を実施した結果、特に問題とな

る事実は確認できなかった旨の報告に議員全員了承した。

球磨郡公立多良木病院 企業団議会報告

12月6日、第4回定例会が開催され、議案として、専決承認1件、病院企業団事業、介護老人保健施設事業及び総合健診センター事業会計補正予算、いずれも原案どおり同意、可決承認された。企業長の行政報告では、医師の確保が困難を極めていること等の報告の後、健康上の理由で12月末に退任するとの表明があった。

建設経済常任委員会

1、9月12日、建設業団体から現場代理人の常駐緩和について要



あさぎり町出身の取締役専務勤務会社訪問
(町出身高校生採用のお願い)

望、10月1日以降の工事から適用となった。
2、11月18日～20日、地元高校生の就職・雇用の要望、あさぎりの産品販路拡大について大阪の企業を訪問し多くの成果を得た。

3、11月25日、今井中学校線の通学路改良工事の進捗状況調査を行い、午後は、商工会との意見交換会を実施した。

4、11月26日、ふるさと振興社の経営について、松下税理士・酒



熊本県大阪事務所訪問
(町の特産品販路拡大について)

井副社長から説明を受け、自立できる体制を早急に示すよう要請した。

厚生常任委員会

9月24日に所管事務の調査を行った。

○子ども医療費助成事業の制度変更の基本方針と対策について

○乳幼児健康診査・予防接種日程調整会議の結果について

○救護施設しらがね寮のいじめ問題の調査報告について

熊本県健康福祉部長寿社会局社会福祉課より平成25年7月26日に調査報告があり、いじめの有無については、その事実を確認できなかったが、改善を要する事項が認められたので指導するとの通達があった。

○救護施設（しらがね寮）ニチレクボール大会参加
平成25年10月24日 午後1時30分

活性化特別委員会

12月12・13日開催の委員会における主な議事と意見（抜粋）の報告

○町長、議員の同日選挙について経費削減効果はあるが、弊害もあり今後も検討を重ねる。

○学校生徒による一日議会について26年度に実施予定。

○議会報告会の検証についてはより多くの住民の参加を図り、多くの意見を伺う工夫が必要とし次回に向け検討課題とした。

あさぎり町議会 視察訪問受け入れ

《視察研修の受入れ》平成25年1月～

期 日	団 体 名	調 査 研 修 内 容
2月 5日	福岡県大刀洗町議会広報委員会 7人	議会広報
2月15日	熊本県高森町議会 8人	議会運営、議会広報
5月30日	福岡県広川町議会広報委員会 6人	議会広報
9月24日	宮崎県都農町議会特別委員会 12人	通年議会、基本条例、その他
10月29日	鹿児島県錦江町議会 15人	議会中継、通年議会、議会報告会、他
11月14日	福岡県大川市議会 5人	中学校統合
11月19日	長崎県東彼杵町議会常任委員会 7人	中学校統合
11月28日	球磨県錦町議会活性化特別委員会 15人	通年議会、基本条例、その他



錦江町研修受入

通年議会への取り組みや議会広報金賞受賞などの活動が認められ、県内外から沢山の視察研修がありました。



都農町研修受入



広川町研修受入

第11回

球磨川 マラソン大会



前回の大会まで、真夏の過酷なマラソン大会として名を馳せた球磨川マラソン。
廃止の憂き目にあいそうな時に、町民の皆さんから存続の要望が議会にもたくさん寄せられました。
町長との折衝の後、町と議会が力を合わせて取り組む大会として蘇りました。
多くの方々のおもてなしの心がランナーの感動を生む素晴らしい大会となりました。



あさぎり町商工会女性部によるおもてなし



本番当日 早朝集合



出来たての温かな料理(豚汁、ぜんざい、カレー)



銘酒会の皆さんと参加賞の袋詰め



おいしい料理に舌つづみを打つ参加者



同時に開催されたウォーキング大会



上北堀の角
恒松哲郎

地元の資源を活用しよう

12月になると郵便局などに大きな門松が建てられます。その中で目を引くのが孟宗竹です。美しさ、力強さが魅力的です。私は球磨の孟宗竹をもっと、工芸や繊維工業に利用できないかと思っています。孟宗竹以外でも唐竹や破竹は利用価値が高いと思います。杉や桧は利用できるまで60年かかりますが、竹は2年か3年で成長します。燃料としても火勢が強く、子どもの頃、風呂沸かしによく使いました。

御船町で竹工場企業のことで数年前、問題がありましたが御船町の失敗を参考にして、地元でもう一度考えてみたらと思います。竹の繊維は他の繊維とはちがうと聞いています。利用幅が広いようです。

道端や畑のあぜにセンダンがよく生えます。球磨盆地はセンダンが好む気候、土地だと思います。耕作放棄地をセンダン森として育成し大きな木材を家具の材料として売るのも良いと思います。昔はセンダンのタンスがありました。もっと地元の豊富な資源に目を向けてはどうでしょうか。



深田西新
出水田清子

今、思う事

深田に嫁いで20年。変わったことと言えば、農家の減少さらに10年後と考えると、どうなってしまうのか不安になってしまいます。

どこでもかかえている問題であり簡単に解決することでもないと感じていますが…。

町でも、色んな努力をされていますね。特産物作りであったり、各イベントの実施、クリスマスイルミネーション等々。そこにどれだけの参加があり効果がでているのか。

「広報あさぎり」を読んだり「議会だより」を見て、どのようなことが行われているのか、どのような問題があるのか、今はただ見て終わっています。それでは何も変わることはないんじゃないかと思っています。

イベント等、参加可能なものには参加し、意見があればどんどん出してはどうでしょう。皆を代表していらっしゃる議員の方々に、こういうのはどうかというアイデアや、これはどうなっているのか！という疑問など、どんどん出し合えれば良くなるのでは。

編集後記

医師確保に全力

公立多良木病院企業団が医師不足に伴い午後の内科系外来診療を休止する事態となつていました。医師不足が続くと24時間体制の救急医療にも影響がおよぶ、町民の皆さんの不安は計り知れないものがあります。

医師不足は、出身大学の医学部で研修することになっていった医学生が、平成16年に導入された新臨床医研修制度により研修先を自由に選べるようになったのが大きな要因ですが、このような事態になる事の対策を講じてこなかった関係者の責任は大きいと思います。

今後は、町民の皆さんの命に係わることでありますから、4町村議会議員が結束を図り医師の招へい活動に全力を挙げていきます。今年は午年、一歩一歩地に足をつけ町民の皆さんの幸福度が増すように議員一同汗を流してまいりますので、よろしくお願いいたします。(溝口峰男)

編集・発行責任者

広報調査特別委員会

議長	橋爪和彦
委員長	豊永喜一
副委員長	加賀山瑞津子
委員	溝口峰男
	小出高明
	橋本尚誠



あさぎり町議会だよりは
ホームページでもご覧頂けます。